

JALUX、「北海道支社準備室」を札幌市内に開設

-地域共創によるバリューチェーンの構築、北海道ブランドのさらなる価値向上へ-

JALグループの商社 株式会社 JALUX（ジャルックス、本社：東京都港区、代表取締役社長：河西 敏章、以下「JALUX」）は、2026年4月、北海道における戦略的拠点として「北海道支社準備室」（所在地：北海道札幌市）を開設することをお知らせします。本準備室は、支社への昇格を見据えた重要拠点として、現地での体制整備を加速させてまいります。

■「北海道支社準備室」開設の背景と意義

JALUX はこれまで、新千歳空港での「JAL PLAZA」の運営をはじめ、道内企業・自治体との連携による商品開発、「JAL ふるさと納税」事業を通じた地域創生の推進、空輸を活用した北海道産品の高鮮度輸送など、長年にわたり北海道とのつながりを深めてまいりました。2025年4月には北海道の美味しいものを紹介するタッチポイントとして全国に「北海道うまいもの館」を展開する北海道フードフロンティア株式会社を子会社化しました。

北海道は、日本を代表する食の供給拠点であり、圧倒的な地域ブランド力を有しています。当社はこの北海道の地に新たに拠点を構え、持続可能な未来を築き上げるパートナーとして、共に地域課題に向き合い、より深くコミットしていくべく、「北海道支社準備室」を開設します。

■北海道における今後の取り組み

本準備室の開設を皮切りに、将来的な支社設立を見据え、以下の活動を重点的に推進してまいります。

1. 道内での一貫体制構築と JAL グループのネットワークの活用

道内で原料から加工まで一貫して手掛ける体制を構築し、国内外の JAL グループのネットワークを活用した高鮮度輸送と当社の商流を組み合わせることで、独自価値を創出してまいります。

2. 地域資源の有効活用と新たな商流づくり

未利用野菜を活用したサプライチェーンの構築や、サーモン養殖事業など、北海道の豊かな資源を活かした新たな事業創出に挑戦してまいります。

3. 道内企業・自治体との協業強化

道内企業とのシナジー創出や仕入れ先開拓を強化し、地域一丸となった事業展開を推進します。あわせて、地域のゲートウェイ機能を担う各所と連携し、拡大するインバウンド需要を確実に取り込むことで、北海道ブランドの価値を広く国内外へ届けてまいります。

4. 若手主体のイノベーション創出

次世代を担う若手社員を中心としたチームを立ち上げ、既存の枠にとらわれない柔軟な発想で、北海道の食をテーマとした新たな価値を創出してまいります。

■北海道支社準備室概要

拠点名：北海道支社準備室

所在地：北海道札幌市中央区北1条西2丁目1番地 札幌時計台ビル4F

JALUX は「北海道支社準備室」の開設をきっかけに現地でのつながりを強固にし、段階的に組織・機能を拡大していく予定です。北海道の豊かな実りを、国内外のお客さまにお届けし、その還元をもって地域社会の発展に貢献してまいります。